

くすりのしおり

内服剤

2022年04月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：ミニプレス錠 0.5mg

主成分：プラゾシン塩酸塩 (Prazosin hydrochloride)

剤形：白色の割線入りの錠剤、直径 6.4mm、厚さ 2.4mm

シート記載など：Minipress 0.5mg、ミニプレス 0.5mg、プラゾシン塩酸塩、PT 432



この薬の作用と効果について

α受容体遮断作用により、末梢血管を拡張させ、血管の抵抗を弱めて血圧を下げます。また、尿道内圧の上昇や膀胱収縮を抑え、膀胱容量を増加させます。

通常、本態性高血圧症、腎性高血圧症、前立腺肥大症に伴う排尿障害の治療に用いられます。ただし、前立腺肥大症の場合は、症状の原因そのものを治すものではありません。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。肝機能障害がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・本態性高血圧症、腎性高血圧症：通常、成人は1回1錠（プラゾシンとして0.5mg）を1日2～3回から服用が始められます。効果が不十分な場合は、1～2週間の間隔をあけて、1日3～12錠（1.5～6mg）まで少しずつ増量され、2～3回に分けて服用します。まれに1日30錠（15mg）まで増やされることもあります。年齢・症状により適宜増減されます。
前立腺肥大症に伴う排尿障害：通常、成人は1回1錠（プラゾシンとして0.5mg）を1日2～3回から服用が始められます。効果が不十分な場合は、1～2週間の間隔をあけて、1日3～12錠（1.5～6mg）まで少しずつ増量され、2～3回に分けて服用しますが、症状により適宜増減されます。
いずれの場合も、必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次に通常に服用する時間が近い場合は飲まずに、次の服用時間から1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・服用初期または用量の急増時などに、めまい、脱力感、発汗、動悸などの前兆を伴って、一時的に急激な血圧低下によると考えられる失神・意識喪失を起こすことがありますので注意し、そのような場合には仰向けになるなどしてください。
- ・服用初期または用量の急増時などに、血圧が下がることにより、めまいなどがあらわれることがありますので、車の運転や高い所での作業、危険をとまぬ機械の操作などには十分注意してください。
- ・白内障の手術を受けられる際は、手術をする医療機関へこの薬を服用していることをお伝えください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、めまい、頭痛・頭重などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・めまい、力が抜ける、意識がなくなる [失神・意識喪失]
- ・胸が締めつけられる、胸が痛い、冷や汗 [狭心症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。